

ミリ波踏切障害物検知装置

2.9m 以下の自動車等も検出可能

概要

ミリ波踏切障害物検知装置は、ミリ波レーダーを使用して踏切内の障害物を検知する新しい方式の装置です。

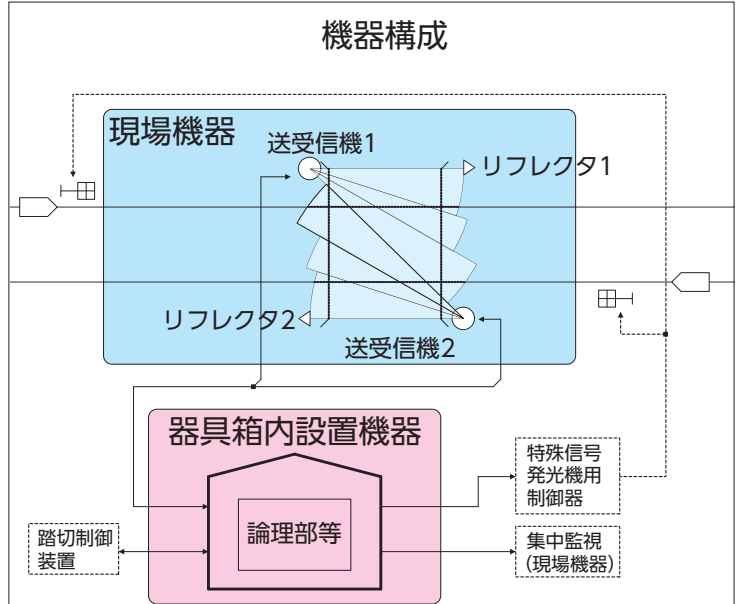
踏切内に送受信機とリフレクタ（反射板）を設置します。送受信機から時分割でミリ波（送信波）を送信し、常時リフレクタからの反射波を受信することで、システムの自己診断をしています。

踏切内に障害物がある場合、送信波は障害物で反射します。障害物の有無は、送信波と障害物からの反射波をもとに判定します。

障害物を検出した場合、特殊信号発光機などに出力し、運転士等に報知します。

特長

- 踏切道全域を途切れることなく監視します。
- 従来の光式では困難だった2.9m以下の自動車等も検出可能です。
- 従来の光式と比べ、誤検出の原因となる霧、降雨、降雪の影響を受けにくくなります。
- 建築限界外に設備するため、昼間の列車間合での保守も可能です。



仕様

項目	性能	
検知対象1	踏切監視範囲内の2.9m以上の物体 (軽自動車相当以上)	
検知対象2	踏切監視範囲内の2.9m以下の物体 ただし直径16cm以上、高さ1.1m以上	
不検知確率	検知対象1	0.00001%以下
	検知対象2	0.01%以下
検知距離	障害物	送受信機から6m～25m
	リフレクタ	送受信機から6m～30m

